10周年企画Ⅲオンライン・シンポジウム 「今こそ"ノーモア・ヒバクシャ"」

日青協事務局と平和の学習会

2022年5月21日(土) 日本青年団協議会 事務局 四至本鈴香



青年団とは青年中心の地縁団体

- スポーツや文化活動、郷土芸能、祭り・イベント、ボランティア 活動といったものから広く社会に目を向けた活動まで幅広く 行っている団体。
- 職業や思想・信条、宗教に関わりなく誰でも入団できる。
- 10代後半~30代が多い。
- ⇒同じ地域に住む仲間の悩みや課題を解決し、要求(より良い未来)を実現していくために地域や社会を巻き込み、つくりかえていく





日本青年団協議会(日青協)の結成

【発足年月日】 1951年5月4日~5日

【発足経緯】

戦後、ふるさとにもどった若者たちが、荒れ果てたふるさとを目の当たりにし、いち早く郷土の復興に立ち上がった。

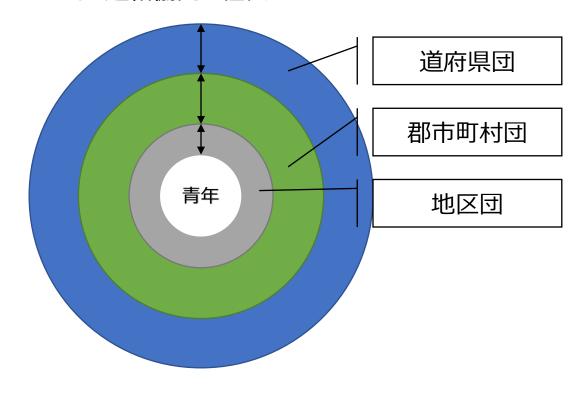
【心掛けていること】

生きることが楽しく、そして豊かな青年を一人でも多く増やしていく



日青協の組織図

- 日青協は、全国の青年団の上位組織にあらず
- 地域で活躍する青年たちをつなぐ連絡協調の組織





2. 平和の学習会について

平和の学習会を開催

▶期 間:2021年11月から

2022年4月まで月1で開催

▶開催方法:対面開催orハイブリッド開催

▶主な出席者:日青協事務局(7名)、

濱住治郎様(日本原水爆被害者団体協議会事務局次長)、

田部知江子様(弁護士)

▶開催方法:事務局員が回ごとに担当を決め、持ち回りで開催



第1~4回学習会

▶実施期日:2021年11月、12月

2022年1月、2月

▶会 場:日本青年館

▶内 容: ①ブックレットの朗読

②感想交流

岩波ブックレット No.1048

被爆者から あなたに

いま伝えたいこと



ふたたび被爆者をつくらないために

原爆が心身にもたらす苦しみとたたかいながら 被害の実相を訴えつづけてきた被爆者たち。核の ない世界の実現を願い、次世代に伝えるメッセージ。



定価(本体620円+税)



2. 平和の学習会について

第1~4回学習会



▶ 事務局の感想に耳を傾けるお二人



▶ 第1回学習会で朗読しあう様子



第5回学習会

▶実施期日:2022年3月

▶会 場:東京都立第五福竜丸展示館

▶内 容: ①展示館の見学

②感想交流



→きさと当時の状況に圧生と共に見学。福竜丸の→偶然、意合わせた高校

↓市田真理学芸員にご案

第6回学習会

▶実施期日:2022年4月

>会 場:南浦和資料庫

▶内 容: ①資料庫内の見学

②感想交流



→説明を受けた後、一人ひ とりが興味のある資料を閲 覧することができた ←栗原淑江様(NPO法人ノーモ ア・ヒバクシャ記憶遺産を継承す る会事務局)に被爆者の声が記さ れた冊子について説明を受ける



各種SNSやインターネットで「日本青年団協議会」で検索!

その他の 青年団の取り組み













